



— 東邦ガス株式会社 —
2023年3月期
第2四半期
連結決算説明資料

2022年10月27日

目次



1.	2023年3月期 第2四半期連結決算の概要	…	3
2.	2023年3月期 連結決算の通期見通し	…	8
<参考1>	原料調達の様況	…	14
<参考2>	トランジションボンドの発行	…	15
<参考3>	中期経営計画（2022～2025年度）の概要	…	17
<参考4>	株主還元の実施状況	…	20

本資料における業績予想及び将来の予測に関する記述は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。従いまして、実際の業績は、さまざまな要因により、これらの業績予想とは異なることがありますことをご承知おき下さい。

1. 2023年3月期 第2四半期連結決算の概要

(1) まとめ

- エネルギーお客さま数は、対前年 + 1.7%増
- 都市ガス販売量は、対前年 Δ 1.4%減、LPGは同 Δ 0.2%減、電力は同 + 17.7%増
- 売上高は対前年949億円増、経常利益は同56億円増

エネルギー お客さま数		2023.3期 2Q	2022.3期 2Q	増減	増減率
	お客さま数 (千件)		2,896	2,847	+49
エネルギー 販売量	都市ガス (百万m ³)	1,663	1,688	Δ 24	Δ 1.4%
	LPG (千トン)	214	214	Δ 0	Δ 0.2%
	電気 (百万kWh)	1,112	945	+167	+17.7%
収支		2023.3期 2Q	2022.3期 2Q	増減	増減率
	売上高	3,028	2,078	949	45.7%
	経常利益	98	41	56	133.7%

1. 2023年3月期 第2四半期連結決算の概要

(2) お客様数・販売量



エネルギー お客様数		2023.3期 2Q	2022.3期 2Q	増減	増減率	摘要
	お客様数 (千件)	2,896	2,847	+49	+1.7%	
	都市ガス※1	1,743	1,772	△28	△1.6%	競合影響など
	LPG※2	605	602	+3	+0.6%	新規開発
	電気	548	474	+74	+15.6%	新規開発

※1 小売契約件数 ※2 配送受託件数を含む

都市ガス 取付メーター数 (千件)	2,564	2,543	+22	+0.9%	
----------------------	-------	-------	-----	-------	--

エネルギー 販売量		2023.3期 2Q	2022.3期 2Q	増減	増減率	摘要
	都市ガス (百万m ³)	1,663	1,688	△24	△1.4%	
	家庭用	218	237	△19	△8.1%	高気温影響等
	業務用等	1,446	1,451	△5	△0.3%	部品供給不足による生産減等
	LPG (千トン)	214	214	△0	△0.2%	
	電気 (百万kWh)	1,112	945	+167	+17.7%	
	<参考> 平均気温 (°C)	23.8	22.9	+0.9	—	対前年 1Q: +0.8°C、2Q: +1.0°C

1. 2023年3月期 第2四半期連結決算の概要

(3) 収支状況



単位：億円

	2023.3期 2Q	2022.3期 2Q	増減	増減率
売上高	3,028	2,078	949	45.7%
売上原価	2,328	1,435	893	62.2%
供給販売費 一般管理費	615	615	0	0.1%
営業利益	84	28	56	200.1%
経常利益	98	41	56	133.7%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	68	29	39	135.8%

	2023.3期 2Q	2022.3期 2Q	対前期比較
原油価格（全日本CIF）	111.9 ドル/バレル	70.3 ドル/バレル	41.6ドル高
為替レート（TTM）	134.0 円/ドル	109.8 円/ドル	24.2円安

1. 2023年3月期 第2四半期連結決算の概要

(4) 経常利益 増減要因 (対前年同期)

経常利益 (41億円⇒98億円) + 56億円

■ ガス販売量の影響	△ 5億円
■ スライドタイムラグの影響	△ 280億円
(2022.3期 2Q △95億円 ⇒ 2023.3期 2Q △375億円)	
■ 原材料在庫による受払差の影響	+ 110億円
■ 固定費の影響等	+ 231億円

1. 2023年3月期 第2四半期連結決算の概要

(5) 財政状況



単位：億円

	2023.3期 2Q末	2022.3期 末	増減
総資産	7,058	6,555	502
純資産	3,837	3,827	9
有利子負債	1,747	1,408	338
自己資本 比率	54.4%	58.4%	△4.0 ポイント
D/Eレシオ (倍)	0.46	0.37	0.09

	2023.3期 2Q	2022.3期 2Q	増減
営業C F	49	53	△3
投資C F	△238	△256	18
(F C F)	(△188)	(△203)	15
財務C F	288	△51	339
現預金の 増減額	105	△254	359
期末現預金 残高	426	251	175
設備投資額 (投融資含む)	265	291	△26
減価償却費	177	177	△0

2. 2023年3月期 連結決算の通期見通し

(1) まとめ

- エネルギーお客さま数は、対前年2.2%増
- 都市ガス販売量は対前年△1.0%減、LPGは同△0.9%減、電力は同+10.9%の増
- 売上高は対前年32.0%増、経常利益は同5.0%増

	2023.3期 見通し	2022.3期 実績	増減	増減率	摘要
エネルギー お客さま数					
お客さま数 (千件)	2,937	2,873	+63	+2.2%	前回見通しから変更なし
エネルギー 販売量					
都市ガス (百万m ³)	3,575	3,613	△38	△1.0%	前回見通し：3,626百万m ³
LPG (千トン)	481	486	△5	△0.9%	前回見通しから変更なし
電気 (百万kWh)	2,358	2,126	+232	+10.9%	"
収支					
売上高	6,800	5,153	1,646	32.0%	前回見通しから変更なし
経常利益	230	219	10	5.0%	"

10月以降の前提：原油価格：110ドル/バレル、為替レート135円/ドル

2. 2023年3月期 連結決算の通期見通し (2) お客さま数・販売量 (対前年度実績)



エネルギー お客さま数		2023.3期 見通し	2022.3期 実績	増減	増減率	摘要
	お客さま数 (千件)	2,937	2,873	+ 63	+ 2.2%	
	都市ガス※1	1,757	1,756	+ 1	+ 0.1%	
	LPG※2	606	603	+ 2	+ 0.4%	
	電気	574	514	+ 60	+11.6%	新規開発

※1 小売契約件数 ※2 配送受託件数を含む

都市ガス 取付メーター数 (千件)	2,577	2,555	+ 22	+ 0.9%	新規開発
----------------------	--------------	-------	------	--------	------

エネルギー 販売量		2023.3期 見通し	2022.3期 実績	増減	増減率	摘要
	都市ガス (百万m ³)	3,575	3,613	△ 38	△ 1.0%	
	家庭用	616	640	△ 24	△ 3.8%	気温影響や巣ごもり需要の減少など
	業務用等	2,959	2,973	△ 13	△ 0.5%	お客さま先設備の稼働減など
	LPG (千トン)	481	486	△ 5	△ 0.9%	冬場の低気温の反動など
	電気 (百万kWh)	2,358	2,126	+ 232	+10.9%	お客さま件数の増など

年間平均気温：2023.3期 計画16.9℃ (2022.3期 実績：16.4℃)

2. 2023年3月期 連結決算の通期見通し

(3) お客さま数・販売量（対前回見通し）



エネルギー お客さま数		2023.3期 見通し	2023.3期 前回見通し	増減	増減率	摘要
	お客さま数 (千件)	2,937	2,937	—	—	変更なし
	都市ガス※1	1,757	1,757	—	—	〃
	LPG※2	606	606	—	—	〃
	電気	574	574	—	—	〃

※1 小売契約件数 ※2 配送受託件数を含む

都市ガス 取付メーター数 (千件)	2,577	2,577	—	—	変更なし
----------------------	-------	-------	---	---	------

エネルギー 販売量		2023.3期 見通し	2023.3期 前回見通し	増減	増減率	摘要
	都市ガス (百万m ³)	3,575	3,626	△ 51	△ 1.4%	上半期の下振れを反映
	家庭用	616	627	△ 11	△ 1.8%	〃
	業務用等	2,959	2,999	△ 40	△ 1.3%	〃
	LPG (千トン)	481	481	—	—	変更なし
	電気 (百万kWh)	2,358	2,358	—	—	〃

2. 2023年3月期 連結決算の通期見通し

(4) 収支状況等 ※前回見通しから変更なし

単位：億円



	2023.3期 見通し	2022.3期 実績	増減	増減率	摘要
売上高	6,800	5,153	1,646	32.0%	前回見通しから変更なし
営業利益	190	178	11	6.4%	"
経常利益	230	219	10	5.0%	"
親会社株主に 帰属する当期純利益	160	154	5	3.5%	"
設備投資額 (投融資含む)	714	603	110	18.3%	前回見通しから変更なし
減価償却費	368	365	3	1.0%	"

【前提】

(単位：ドル/バレル、円/ドル)

【感応度(年間)】

	2023.3期	2022.3期	増減	備考
原油価格	111.0	77.2	+33.8	10月以降：110ドル/バレル
為替レート	134.5	112.4	+22.1	10月以降：135円/ドル

	ガス粗利
原油価格+1ドル/バレル	△2億円
為替レート +1円/ドル	△4億円

2. 2023年3月期 連結決算の通期見通し (5) 経常利益 増減要因 (対前年)

経常利益 (219億円⇒230億円) + 10億円

■ ガス販売量の影響	△ 10億円
■ スライドタイムラグの影響	+ 190億円
(2022.3期 △350億円 ⇒ 2023.3期 △160億円)	
■ 原材料在庫による受払差の影響	△ 50億円
■ 固定費の影響等	△ 120億円

2. 2023年3月期 連結決算の通期見通し

(6) 経常利益 増減要因 (対前回公表計画)

経常利益 (230億円⇒230億円) ±0億円

■ **ガス販売量の影響** △ **15億円**

■ **スライドタイムラグの影響** + **35億円**

(前回公表計画 △195億円 ⇒ 今回公表計画 △160億円)

■ **原材料在庫による受払差の影響** ± **0億円**

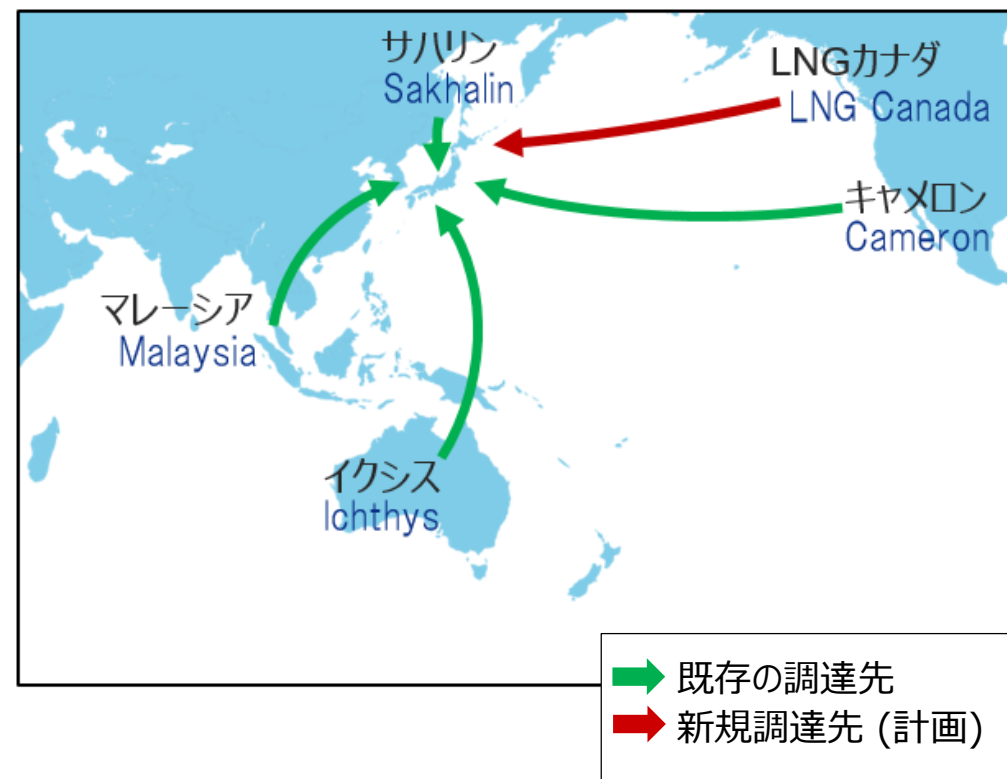
■ **固定費の影響等** △ **20億円**

<参考1> 原料調達状況

- サハリンⅡにおける売主の変更や、マレーシアの一部における生産設備のトラブルが発生しているが、現時点で当社のLNG調達に具体的な影響は生じていない。

<当社の長期契約LNGプロジェクト概況>

国名	プロジェクト等	調達量 (千トン/年)	期間
オーストラリア	西豪州拡張	300	2004-2029
	イクシス	280	2018-2032
マレーシア	Ⅲ (ティガ)	340	2004-2024
		400	2007-2027
	ペトロナス ポートフォリオ	420~540	2017-2027
ロシア	サハリンⅡ	500	2009-2033
米国	キャメロン (三井物産)	300	2019-2039
	キャメロン (DGI)	200	2020-2038
カナダ	LNGカナダ	300	2024-2039 (計画)



<参考2> トランジションボンドの発行 トランジションボンド発行概要（予定）



銘柄	東邦瓦斯株式会社第47回無担保社債 (社債間限定同順位特約付) (トランジションボンド)
年限（予定）	10年
発行額（予定）	100億円
条件決定日（予定）	2022年11月
主幹事	大和証券株式会社（事務）、野村證券株式会社、 三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社、みずほ証券株式会社
ストラクチャリング・エージェント※	大和証券株式会社
取得予定格付	AA (R&I)
財務代理人	三井住友銀行
第三者評価機関	DNV ビジネス・アシュアランス・ジャパン株式会社（以下、「DNV」）
その他	本起債に関するフレームワークに係るセカンド・パーティ・オピニオンを取得するにあたって、経済産業省の「令和4年度温暖化対策促進事業費補助金(クライメート・イノベーション・ファイナンス推進事業)」の補助金交付対象となることについて、DNVは、一般社団法人 低炭素投資促進機構より交付決定通知を受領

※：グリーン/トランジション・ファイナンス等のフレームワークの策定やセカンド・パーティ・オピニオンの取得に関する助言等を通じて、グリーン/トランジション・ファイナンス等の実行支援を行う者

<参考2> トランジションボンドの発行 トランジションボンドの資金使途概要

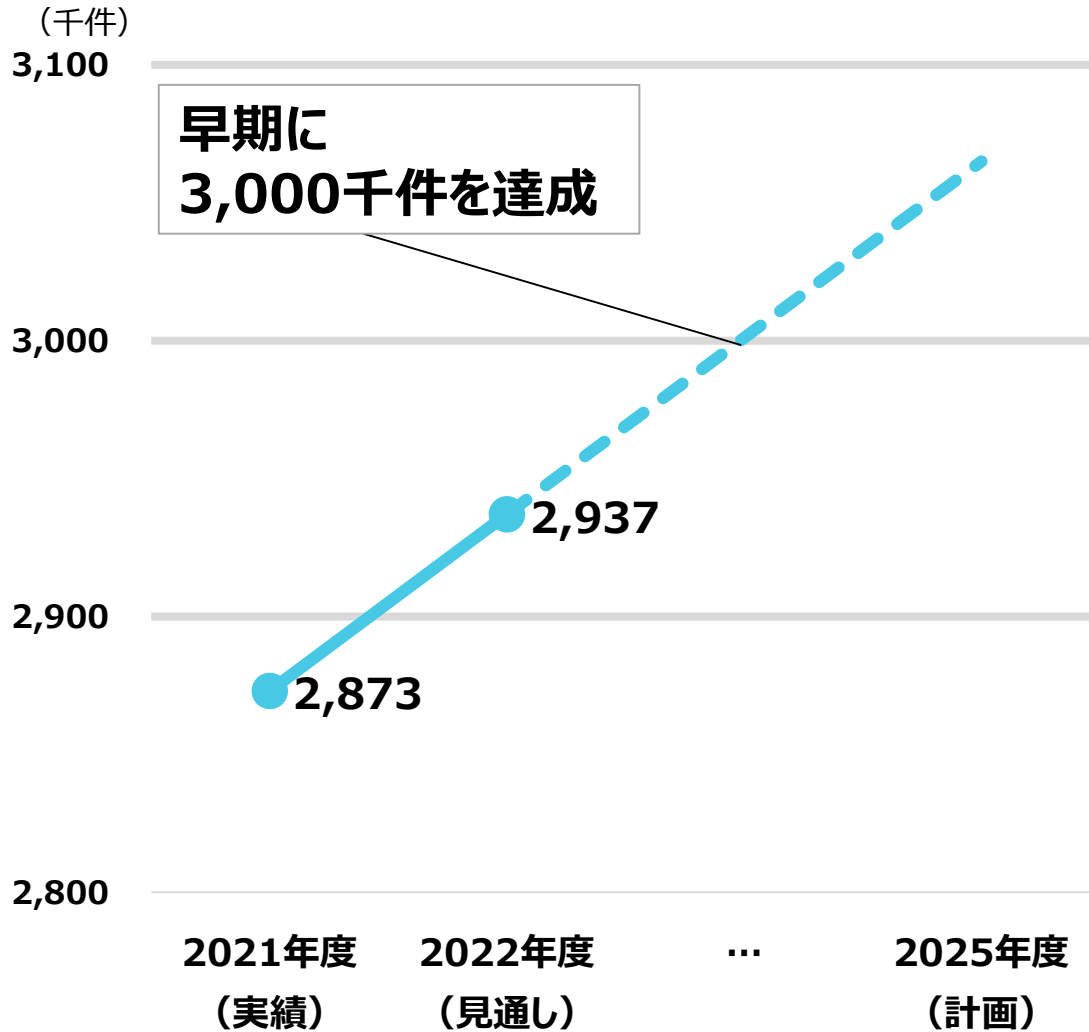
プロジェクト名	クリーンエネルギー製造拠点化	
	メタネーション実証試験（ガス）	水素製造プラント（水素）
イメージ		
概要	<ul style="list-style-type: none"> 知多市と連携したバイオガス由来CO₂とLNG冷熱発電を活用したメタネーション(サバティエ反応)実証試験による合成メタン製造と都市ガス原料としての利用。 	<ul style="list-style-type: none"> 水素サプライチェーン構築。水素の需要創出と供給体制整備の両面から先行的な取組みを志向。
所在	愛知県知多市（知多LNG共同基地敷地内）	愛知県知多市（知多緑浜工場内）
充当予定額	25億円程度	
プロジェクト名	系統用蓄電池（電気）	台湾洋上風力発電事業（電気）
イメージ		
概要	<ul style="list-style-type: none"> 津LNGステーション跡地に、再エネの普及促進を目的とした系統用蓄電池を導入。東海3県では初の事例。 	<ul style="list-style-type: none"> (株)商船三井および北陸電力(株)と3社共同で参画する台湾における洋上風力発電事業（フォルモサ1）。
所在	三重県津市（津LNGステーション跡地）	台湾/苗栗県沖（Miaoli County）
充当予定額	25億円程度	50億円程度

<参考3> 中期経営計画（2022～2025年度）の概要

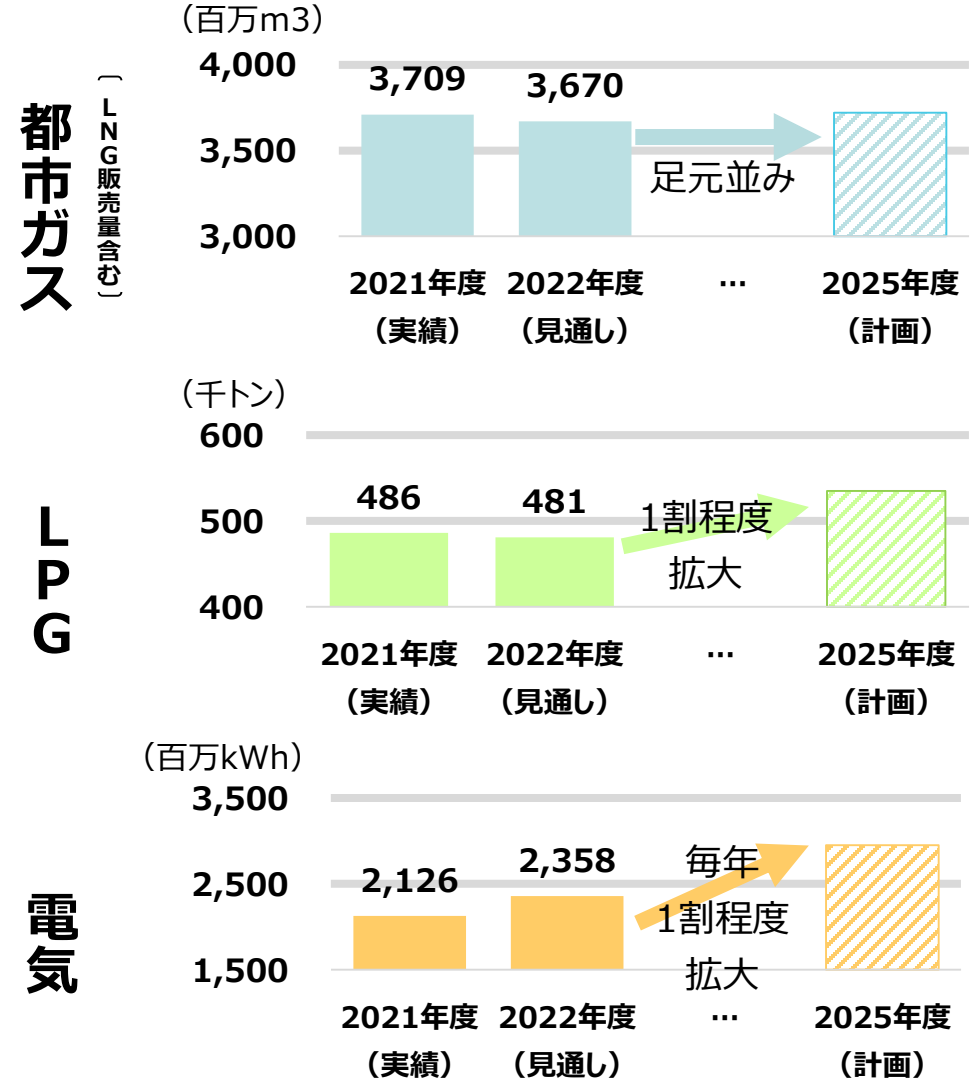
数値目標



エネルギーお客さま数



エネルギー販売量



<参考3> 中期経営計画（2022～2025年度）の概要

経営指標



方針

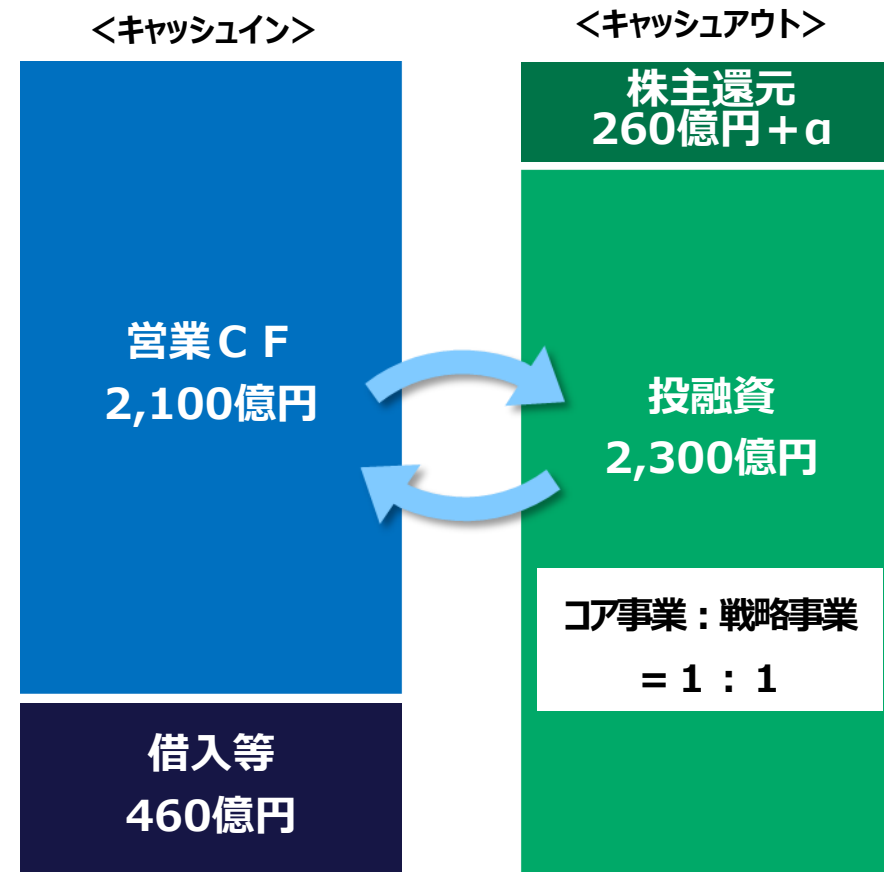
- 営業キャッシュフローの創出力を維持しつつ、持続的な成長に向けた投資を加速
- 投資拡大局面においても効率性や健全性のバランスをとって全体を管理

	経営指標	経営目標
収益性	営業キャッシュフロー	2,100億円 以上 (2022～2025年度累計)
効率性	ROA	3%程度 ^{※1} > WACC ^{※2} (2025年度)
健全性	D/Eレシオ	0.6程度 (2025年度)

※1 2025年度の連結経常利益250億円程度 ※2 WACC = 資本コスト: 2%台半ば

株主還元方針	
	安定配当を基本とし、機動的な自己株取得・消却を合わせ、中長期的に連結当期純利益の4～5割を目安として株主還元を実施

中期経営計画におけるキャッシュフロー



<参考4> 株主還元の実施状況

■ 株主還元方針

安定配当を基本とし、機動的な自己株取得・消却を合わせ、中長期的に連結当期純利益の4～5割を目安として株主還元を実施。

- 2022年度配当は、通期で一株当たり60円を予定。

単位：億円

年度	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022 (計画)
連結当期純利益	112	190	430	177	180	148	162	85	154	160
年間配当額	49	51	54	53	55	58	58	58	60	63
[1株当り配当]	[45円]	[47.5円]	[50円]	[50円]	[52.5円]	[55円]	[55円]	[55円]	[57.5円]	[60円]
自己株取得	-	29	45	29	-	29	-	-	15	-
株主還元 計	49	81	99	83	55	88	58	58	76	63



東邦ガス

100th
anniversary